



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社京写

上場取引所

東

コード番号 6837

URL <https://www.kyosha.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児嶋 一登

問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 経営管理本部長

(氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,495	6.2	361	97.3	260	88.8	162	47.3
2026年3月期第1四半期	6,118	△2.1	183	△48.9	137	△42.4	110	△21.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 510百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △406百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.24	—
2026年3月期第1四半期	7.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,821	10,479	39.6
2026年3月期	24,961	10,137	39.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 10,220百万円 2026年3月期 9,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.2	1,100	33.2	800	46.2	430	449.0	29.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,624,000株	2026年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	323,887株	2026年3月期	40,587株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	14,462,317株	2026年3月期1Q	14,531,509株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復が続き、プリント配線板業界においてもLED照明やエアコン等の家電製品の生産増加が見られ、堅調に推移しました。海外においては、米国で景気は緩やかな拡大が続き、アセアンにおいても回復傾向にあるものの、中国では景気減速が続きました。

一方で、為替変動、中東情勢の緊迫化による原材料、エネルギー価格の急激な変動など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、LED照明等の家電製品や新規の自動車関連分野の売上増加、電子部品向け金属基板の受注増加により、前年同期を上回りました。実装関連事業は、実装事業で主力の航空機向けやAIサーバー等の産業機器向けの受注が引き続き好調に推移しました。これらの結果、国内の売上高は前年同期を上回りました。

海外においては、インドネシアで増産体制が整い事務機分野を中心に大幅に受注が増加し、インド向けの家電製品も引き続き堅調に推移した結果、売上高は、前年同期を上回りました。これらの結果、連結売上高は6,495百万円（前年同期比6.2%増 376百万円の増収）となりました。

利益面は、国内外とも原材料及び製造経費等の高騰が続きましたが、国内ではプリント配線板事業の販売価格の適正化の取り組みと実装事業の増収により増益となりました。海外はインドネシアでの大幅増収により増益となりました。これらの結果、営業利益は361百万円（前年同期比97.3%増 178百万円の増益）、経常利益は260百万円（前年同期比88.8%増 122百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162百万円（前年同期比47.3%増 52百万円の増益）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加639百万円、原材料及び貯蔵品の増加489百万円等により、25,821百万円（前連結会計年度末比859百万円の増加）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、主に短期借入金の増加476百万円等により、15,341百万円（前連結会計年度末比517百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加162百万円、為替換算調整勘定の増加200百万円等により、10,479百万円（前連結会計年度末比341百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2026年5月15日発表からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,687	6,327
受取手形及び売掛金	3,444	3,200
電子記録債権	587	422
製品	2,062	2,161
仕掛品	796	907
原材料及び貯蔵品	2,034	2,523
その他	1,721	1,476
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	16,333	17,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,999	6,097
減価償却累計額	△4,398	△4,513
建物及び構築物（純額）	1,600	1,583
機械装置及び運搬具	13,834	14,070
減価償却累計額	△9,599	△9,893
機械装置及び運搬具（純額）	4,235	4,176
土地	724	724
建設仮勘定	26	26
その他	1,718	1,758
減価償却累計額	△1,159	△1,200
その他（純額）	559	557
有形固定資産合計	7,145	7,068
無形固定資産	120	114
投資その他の資産		
投資有価証券	929	1,169
繰延税金資産	24	28
退職給付に係る資産	75	78
長期滞留債権	696	710
その他	334	343
貸倒引当金	△696	△710
投資その他の資産合計	1,363	1,620
固定資産合計	8,628	8,803
資産合計	24,961	25,821

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	3,481
電子記録債務	633	638
短期借入金	3,877	4,354
1年内返済予定の長期借入金	1,021	1,144
リース債務	42	37
未払法人税等	202	203
賞与引当金	262	349
その他	1,059	845
流動負債合計	10,338	11,055
固定負債		
長期借入金	3,158	2,873
リース債務	61	54
退職給付に係る負債	312	308
繰延税金負債	489	570
その他	463	478
固定負債合計	4,485	4,286
負債合計	14,823	15,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,241	1,241
利益剰余金	4,594	4,684
自己株式	△7	△103
株主資本合計	6,930	6,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520	683
繰延ヘッジ損益	△406	△427
為替換算調整勘定	2,664	2,864
退職給付に係る調整累計額	176	175
その他の包括利益累計額合計	2,955	3,295
非支配株主持分	251	259
純資産合計	10,137	10,479
負債純資産合計	24,961	25,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,118	6,495
売上原価	5,134	5,325
売上総利益	983	1,169
販売費及び一般管理費	800	807
営業利益	183	361
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	5	3
為替差益	14	—
雑収入	16	3
営業外収益合計	38	10
営業外費用		
支払利息	79	80
為替差損	—	30
売上債権売却損	1	0
雑損失	2	0
営業外費用合計	83	111
経常利益	137	260
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	134	259
法人税、住民税及び事業税	22	95
法人税等合計	22	95
四半期純利益	112	164
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	110	162

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	112	164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	162
繰延ヘッジ損益	39	△21
為替換算調整勘定	△559	206
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	△518	345
四半期包括利益	△406	510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△392	502
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インドネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	2,402	2,981	542	15	176	6,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158	351	79	21	875	1,486
計	2,560	3,332	622	37	1,052	7,605
セグメント利益又は損失(△)	△71	244	△56	4	15	136

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	136
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	47
四半期連結損益計算書の営業利益	183

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インドネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	2,556	2,949	805	7	175	6,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	210	354	62	27	738	1,393
計	2,767	3,303	867	34	913	7,888
セグメント利益又は損失(△)	126	205	38	0	△36	334

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	334
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	27
四半期連結損益計算書の営業利益	361

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	268百万円	280百万円